次期学習指導要領 教科別まとめ　　小学校 No.02

審議まとめ（2026年10月5日）を**小学校の先生向け**にまとめ直しました

小学校版

社会

次期学習指導要領で、どう変わる？

覚える社会から、問いと確かな情報で探究する社会へ





10秒でいうと

4年「県内の特色ある地域」は3地域→2地域に精選。情報の正しさを確かめる技能を加える

やさしく言うと

小学校の社会は、身近な地域から国際社会へと広げる考え方を続ける方向です。そのうえで、グローバル化などの地域の変化も内容に入れるとされています。内容は重なりを整理してしぼる案です。調べてまとめる力には、情報が確かかどうかを確かめる力が加わる方向です。教科書が歴史の通史にならないようにすることも示されています。

小学校はいつから？

全面実施	2030年度（令和12年度）から（見込み）
移行期間	2028～2029年度
告示	2026年度末の予定
教科書	2030年度から新しい教科書（2028年度に検定）

この冊子の中身

1 社会のポイント　4つ
2 主な変更点　6項目
3 現行と次期の比較（新旧対照）　3項目
4 授業時数
5 生成AI・ICTとの付き合い方　6項目
6 今からできる準備チェックリスト　6項目
7 次期を先取りする授業アイデア　1本
8 指導案（試案）　1本
9 現行の学習指導要領・解説（小学校）

無料 原田英語.com 次期学習指導要領ナビ

研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。クレジットは残してください。
審議まとめ（2026年10月5日）準拠・出典ページつき。告示前の方向性で、今後変わることがあります。2026年11月4日 版

サイトで見る

社会・地理歴史・公民の3行要約（全校種）

1. 中学校社会に、地理・歴史・公民をつなぐ「分野横断」の単元として、A・Bを新たに設け、現行のまとめに当たるCを位置付け直す案。地域調査などの地域学習は単元B「私たちと社会（仮称）」でまとめて扱う方向。
2. 学ぶ内容は増やさず、重なる事項や教科書の用語をしぼり込む方向。教科書「を」教えるから、教科書「で」教える授業への転換をめざす。
3. ネットやAIの情報が正しいかを確かめる「情報の妥当性の確認」の技能を新たに位置付け、模擬選挙などの主権者教育や外部機関との連携を強める方向。

※中学校の単元A「社会へのまなざし」・B「私たちと社会」・C「よりよい社会を目指して」、地理総合の導入単元「地理と私たち」は仮称。

1 社会のポイント

4つ

1 4年「県内の特色ある地域」は3つから2つへ

今は、地場産業、国際交流、資源の保護・活用の3つの地域を同じように扱うことになっています。次期は、このうち2つの地域を選ぶ方向でしぼる案です。5年の「産業と情報」は、新しい「情報の領域」と役割を分け、情報を生かす産業の役割に重点を置くとされています。P153

授業では、たとえば 県内の2つの地域を選び、それぞれの特色を時間をかけてじっくり比べて調べる。そんな単元の組み方が考えられます。

2 「確かな」情報で調べてまとめる

ネットの情報には、真偽や意図、背景が分かりにくいものがあります。そこで、調べてまとめる技能に「情報の妥当性の確認」（情報が確かか確かめること）を新たに位置付ける方向です。小中学校では「確かな」情報に基づき、「適切かつ」効果的に調べまとめるとしています。P148 P159

授業では、たとえば 調べ学習のカードに「この情報はだれが出したか」「ほかの資料でも同じか」を書く欄を作る。そんな工夫が一例です。

3 歴史は人物と文化遺産で大まかに

小学校の歴史は、人物の業績や優れた文化遺産を通して、世の中の動きを大まかに理解する構成です。事象を網羅的に扱うものではないとされています。そのため、教科書が通史（すべての時代を順に追う形）にならないよう促す方向です。P155

授業では、たとえば ある人物の働きを中心に「なぜこの人は人々に支持されたのか」という問いで1時間を組み立てる。そんな授業が考えられます。

4 主権者教育を体験から

主権者教育を「深める」と「広げる」の両方から進める方向です。子供が主体となる模擬選挙や模擬議会などの実践的な活動を進めるとしています。こども基本法をふまえ、特別活動とも連携し、子供が実感をもって活動する機会を充実するとしています。 P157 P158

授業では、たとえば 学校のきまりや地域の課題について意見を出し合い、話し合って決める模擬議会を開く。そんな活動が一例です。

2 主な変更点

6項目

1. 学習内容をしぼり込む（具体例が示された）

全体として学習内容は増やさず、重なっている事項などを整理する方向です。小学校4年「県内の特色ある地域の様子」は、3つの地域を同じように扱うのをやめ、2つを選ぶ方向です。中学校地理「日本の諸地域」は、考察の仕方が重なる2地域を関連させて扱い、地域の数を減らすとしています。中学校歴史は文化・政治・外交・社会を一体的に扱って時代の特色をつかむ形に整理し、高校「日本史探究」は近現代の項目を、より上位の考え方でまとめる方向です。 P153 P154

2. 小 中 他の新しい教科・領域と役割を分ける

新しく設ける案の「情報の領域」（小学校は「総合的な学習の時間」の中に設け、名称を「総合的な探究の時間」に改める案）や「情報・技術科」と役割を分けて、社会科の内容をしぼる方向です。小学校5年「我が国の産業と情報との関わり」は、情報を活用する産業の役割に重点を置きます。中学校公民「私たちと現代社会」の情報化の影響の学習は、それによる社会の変化や課題を考える学習に重点を置きます。 P153

3. 「調べまとめる技能」に情報の正しさを確かめる力を加える

ネットなどで集めた情報の真偽や意図、背景をつかむことがより大切になったため、情報の信ぴょう性を確かめる新しい技能（「情報の妥当性の確認」に関する技能）を位置付ける方向です。目標では、小中学校は「確かな」情報に基づき「適切かつ」効果的に調べまとめる技能、高校は「その妥当性を吟味しながら」調べまとめる技能を身に付ける方向です。図書や新聞を使うことも大事だと注意されています。 P148 P159

4. AIに頼った成果物が通用しない評価を工夫する

AIの要約をそのままコピーする児童生徒への指導が十分でない、という課題が示されました。最終的には児童生徒が自分で考え、自分の言葉で説明し、責任を持つという考え方を当面の基本とします。評価の例として、口頭試問の要素を入れることや、端末のテストモードでブラウザが使えない状態で根拠をもって記述させることが挙げられています。 P146 P159

5. 主権者教育を「深める」「広げる」

主権者教育を学校の年間指導計画に位置付ける方向です。模擬選挙・模擬投票・模擬議会・模擬請願など、子供が主体となって実感をもてる活動を重視し、形だけで終わらず合意形成を図る活動にするとしています。選挙管理委員会や議会事務局、NPO法人などとの連携や、特別活動・総合的な学習（探究）の時間との連携を強める方向です。政治的中立性の確保と、国の通知に沿った指導が重要とされています。 P157 P158

6. 社会の変化をふまえて扱う内容を充実する

国際情勢、自然災害・防災、海洋を含む環境、生成AIの影響、食料安全保障、金融経済、自衛隊、領土、経済安全保障、拉致問題、アイヌに関する理解などの視点で必要な見直しを行う方向です。こども基本法・障害者差別解消法・理解増進法などをふまえた人権の内容や、旧優生保護法やハンセン病の歴史と被害の実態も扱うとしています。研修などで教師の指導力を高めることも必要とされています。 P156

3 現行と次期の比較（新旧対照）

3項目

黄色のマーカー＝次期で新しく入る・強く打ち出される言葉　~~取り消し線~~＝現行から消える・言い方が変わる言葉

項目	現行	次期（審議まとめの方向）
見方・考え方	小学校では、社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、人々の相互関係などに着目して捉え、比較・分類・総合したり、人々の生活と関連付けたりすること。	学ぶ対象を「**社会的事象や言説**」に広げ、よりよい社会の形成に向けて課題を「**多面的・多角的**」に考え、確かな根拠に基づいて「**公正に判断**」することとして整理。具体的な視点や方法は「統合的な理解・総合的な発揮」に移し、「**社会的な視点や方法等**」と呼ぶ。P149
教科目標の柱書	「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者」に必要な資質・能力の育成。	骨格は小中高共通のまま、**地域・国・世界**を含めたよりよい社会の形成をふまえて「グローバル化する国際社会」の記載を見直す。「主体的に生きる」も、多様な他者と「**協働的に**」生きることをふまえて見直す。P144 P148
小学校4年「県内の特色ある地域の様子」	地場産業が盛んな地域、国際交流に取り組む地域、地域の資源を保護・活用している地域の3つを同様に扱う。	2つの地域を選んで扱う方向で精選する。P153

4 授業時数

小・中学校の社会の標準授業時数を変えるという記述は、この教科の節にはない。高校は標準単位数が新単位で示され、地理総合4・地理探究6・歴史総合4・日本史探究6・世界史探究6・公共4・倫理4・政治・経済4新単位（現行の2・3単位を新単位に直した値。現行1単位＝新2単位、P81～82）。内容の精選では調整授業時数制度で標準を下回る場合も考慮する（P153）。学年区分は示しつつ学年をこえた前倒し・後ろ倒しを認め、配当時数の目安の示し方は告示文で検討。高校は単位の細分化や増単・減単の仕組みの下で示し方を検討（P161）。

5 生成AI・ICTとの付き合い方

6項目

1. 生成AIやSNSの時代に、情報の真偽を見極める力

生成AIやSNSで大量の情報が簡単に手に入る一方、その真偽や信頼性を判断する力が求められています。資料や情報の真偽・意図・背景をつかみ、信ぴょう性を確かめ、根拠に基づいて自分の考えをつくる力を育てます。P147

2. 新しい技能「情報の妥当性の確認」

「社会的事象等について調べまとめる技能」の中に、集めた・読み取った・まとめた情報の信ぴょう性を確かめる新しい技能として「情報の妥当性の確認」を位置付ける方向です。総合の「情報の領域」などでの学習と関連させます。図書や新聞の活用も大切とされています。P159

3. 社会科のAI活用の基本的な考え方

最終的には子供が自分で考え、判断し、成果物の内容を自分の言葉で説明し、責任を持つという考え方のもとで、課題を追究・解決する学習とその評価方法を改善することが当面の基本とされています。P159

4. AIに頼った成果物が通用しない評価

AI要約をそのままコピーする子供への指導が足りていない実態があり、最後の評価で自分で考えていない成果物が通用しない工夫が急ぎの課題とされています。例として、口頭試問の要素を入れる、端末のアンケートソフトのテストモードでブラウザを使えない状態にして、根拠を示して自分の考えを書かせる、が挙がっています。P146 P159

5. ICTを課題追究の学習の基盤に

社会科の教師の端末活用は「資料を大きく映す」「ネットで自由に調べる」が中心で、道具的な使い方にとどまっています。課題把握（統計資料の検索など）、課題追究（根拠資料・原典資料の収集・分析や共有）、課題解決（レポート作成・発表）の各場面で、学習の質を高める基盤としてICTを位置付け直すとされています。P146 P159

6. 主権者教育：SNSや生成AIが判断に影響

社会参加にあたっては、SNSの影響や生成AIの普及が選択・判断に影響することをふまえる必要があり、情報モラルやメディアリテラシーの重要性がますます高まっていると されています。P145

6 今からできる準備チェックリスト

6項目

- [ ] 今すぐ 調べ学習の手順に「情報の妥当性の確認」（だれが・いつ・何をもとに出した情報か、ほかの資料と合うか）を入れたチェック表を作り、ネットだけでなく図書・新聞・統計も使って確かめる習慣をつけます。P148 P159
- [ ] 今すぐ 単元末の評価に、口頭試問の要素や、端末のテストモードでブラウザを使えない状態で根拠を示して書かせる問題を1つ入れ、AIに頼って自分で考えていない成果物が通用しない評価を試します。P146 P159
- [ ] 今すぐ 地域学習で協力してもらった地域の方・施設や、博物館・資料館のデジタルコンテンツの情報を校内で一覧にし、人事異動があっても引き継げるようにします。P146 P160
- [ ] 告示まで 単元ごとに学習上の課題（問い）を1つ立て、その問いの解決に必要な用語にしぼって教える計画を試し、教科書「を」教える授業から教科書「で」教える授業への切りかえを始めます。P147 P151 P155
- [ ] 告示まで 主権者教育を年間指導計画に位置付け、模擬選挙・模擬議会などの活動を選挙管理委員会や議会事務局と事前に打ち合わせて計画します。政治的中立性に関する国の通知を、連携先とも共有しておきます。P157 P158
- [ ] 全面実施まで 「統合的な理解・総合的な発揮」を使った単元づくりに備え、校内研修で1つの単元について「覚えさせたい個別の用語」と「到達させたい概念」を書き分ける練習をします。P148 P150

7 次期を先取りする授業アイデア

1本

小5　1単位時間（45分）

その情報、だれが言ってる？ 出どころ探偵

同じ話題の3枚の情報カードを比べ、出どころと根拠を確かめる手順を身に付けます。

手順・ワークシート

ねらい

米づくりに関する複数の情報について、発信した人・日付・根拠を確かめ、統計資料と照らし合わせて、確かな情報を選んで自分の考えの根拠にすることができる。

流れ

- 5分 3枚のカードを黒板に貼り、「この中でいちばん信じられそうなのはどれ？」と直感で手を挙げさせます。理由を2〜3人に聞きます。
- 8分 班で「出どころ探偵チェック表」を使い、3枚それぞれのだれが・いつ・何をもとに、を調べて書き込みます。書いていないことは「書いていない」と記入させます。
- 14分 カード②の内容を、教科書や地図帳の都道府県別の米の生産量の資料で確かめます。「本当か」「どこがちがうか」を、資料の数字を指して班で説明し合います。続けて、カード①のグラフが教科書・地図帳の統計と合うか、カード③に書かれた工夫が先生の用意した基の記事や広報資料にあるかも、班で手分けして確かめます。
- 8分 全体で共有し、確かめる手順を子供の言葉でまとめます（例：①だれが言っているか ②いつの情報か ③何をもとにしているか ④ほかの資料と合うか）。先生は、ネットの情報だけでなく本や新聞、統計を使うと確かめやすいことを補います。
- 7分 「米づくりがさかんな地域はどこか、それはなぜか」について、確かめた資料を根拠に1〜2文で自分の考えを書きます。
- 3分 振り返りとして、4つの手順のうち、これからの調べ学習でいちばん使いたいものを選び、理由を書きます。

評価

【知識・技能】チェック表で発信者・日付・根拠を確かめ、統計資料と照らし合わせて情報の確かさを判断しているかを見取ります。
【思考・判断・表現】確かめた資料を根拠に、米づくりがさかんな地域とその理由について考えを書いているかを見ます。

8

1本

8 指導案（試案）

小学校第3学年　社会　全10時間（本時は第7時）

お客さんが集まるひみつをさぐろう ～まちのスーパーマーケットの仕事～

中教審の審議まとめ（2026年10月5日）で示された、社会科の「調べまとめる技能」に、集めた情報の信ぴょう性を確かめる「情報の妥当性の確認」に関する技能を位置付ける方向と、「見方・考え方」の対象を「社会的事象や言説」に広げる方向を先取りした試案である。次期学習指導要領はまだ告示前であり、本案は審議ま…

指導案の全文

本時のねらい

「安いからお客さんがたくさん来る」という言葉が本当かを、出どころの分かる複数の情報（アンケート・店長さんの話・見学の記録）で確かめ、お客さんの願いとお店の工夫を結び付けて考え、表現する。

本時の流れ

- **5分** 導入 学習問題「どうして〇〇スーパーにはたくさんのお客さんが来るのだろう」と、前時に分けたはっけんカードを確かめる。前時のふり返りに多く書かれていた「やっぱり安いからみんな来るんだよ」という考えを紹介し、本時の問いをつくる。
- **10分** 展開 はっけんカードの出どころマーク（自分で見た・店長さんに聞いた・チラシで読んだ・家の人や友達から聞いた）を見直し、「安い」に関係するカードを集める。どのカードが確かめられた情報で、どのカードがまだ確かめていない情報かを、グループで分ける。
- **15分** 展開 全体で、①アンケートの結果（お店を選ぶわけのグラフ）、②店長さんの話、③見学で撮った売り場の写真を順に見て、「安いから」以外の理由もあるかを確かめる。お客さんの立場（願い）とお店の立場（工夫）に分けて、板書で整理する。
- **8分** まとめ 「安いからお客さんが来る」という言葉に戻り、学習問題に対する今の考えを、自分の言葉でノートに書く。何人かが発表する。
- **7分** まとめ ふり返りに、「情報を確かめてよかったこと」と、店長さんにもう一度聞いてみたいことを書く。

PDF版：shidoan-sho3-shakai-supermarket.pdf（ダウンロードコーナー）

9 現行の学習指導要領・解説（小学校）

PDF **小学校学習指導要領（平成29年告示）（本文）**
https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_01.pdf

PDF **小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編**
https://www.mext.go.jp/content/20230308-mxt_kyoiku02-100002607_003.pdf

文部科学省の公式PDFです（クリックで開けます）。

ご利用について

- **研修・会議・授業・保護者会での印刷・コピー・配布・投影はご自由にどうぞ。ご連絡は不要です。**
  （校内研修・教育委員会の研修・教員養成の授業・学年会・PTAなど）
- クレジット「原田英語.com 次期学習指導要領ナビ」
  （https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/）はそのまま残してください。
  各ページの下に入っています。
- 中身は中央教育審議会 教育課程部会「次期学習指導要領等に向けた審議まとめ」（2026年10月5日）ほか文部科学省の資料をもとに、原田英語.comが要約したものです。**告示前の方向性**で、答申・告示で変わることがあります。（仮称）の名前も今後変わる可能性があります。
- 文中の P〇 は審議まとめ本体（PDF）のページ、**資料編（1）～（3）P〇** は第3部 資料編（PDF）のページです（PDFのページ番号。印刷されたページ番号とは1つずれることがあります）。PDFで見ているときはクリックで原文が開きます。
- 授業アイデア・指導案は、審議まとめの方向性をふまえた原田英語.comのオリジナルの試案です。
- 最新の情報・ほかのPDFはサイトで：
  https://www.haradaeigo.com/jikigakushushido/download/（2026年11月4日 版）

サイトで最新版を見る